

# ことばの学び

a new way of learning Japanese

臨時増刊号 vol.1

特集 伝統的な言語文化

教育基本法や中教審答申に伝統文化の尊重が明記され、従前に増した各学校段階、各教科での指導が求められることになりました。これに対応して、国語科では「伝統的な言語文化に関する事項」が新たに学習指導要領に加わっています。

## 中学校の古典学習が 変わります

実際に小学校の新しい国語教科書では、古典教材の数が大幅に増加しました。こうしたことを受け、小・中の接続という観点から中学校の古典指導は、どのように考えればいいのか。

### ◎ 目次 ◎

小学校の新しい教科書で扱われる古典教材例

小学校三年 …… 2

四年 …… 3

五年 …… 4

六年 …… 5

中学校でのこれからの

古典学習は? …… 6

伝統的な言語文化に

関する事項一覧 …… 7

小学校で扱う

古典教材 …… 8



小学校の新しい教科書で  
扱われる古典教材例

# 小学校三年

## 〔短歌・俳句〕

雪とけて村いっばいの子どもかな  
名月を取ってくれろと泣く子かな

小林一茶

赤とんぼ筑波に雲もなかりけり  
秋の蚊のよろよろと来て人をさす

正岡子規

雪の朝二の字二の字のげたのあと

田捨女

空遠く声合わせ行く小鳥かな

炭太祇

菜の花や月は東に日は西に  
夏河を越すうれしさよ手に草履

与謝蕪村

古池や蛙飛びこむ水の音  
閑かさや岩にしみ入る蟬の声

松尾芭蕉

## 〔いろは歌〕

いろはにほへと  
ちりぬるを  
わかよたれそ  
つねならむ  
うゑのおくやま  
けふこえて  
あさきゆめみし  
ゑひもせす

## 〔季節の言葉〕

・ 節分  
・ ひなまつり  
・ 八十八夜  
・ 月見  
・ すすはらい  
など

## 〔百人一首〕

春過ぎて夏来にけらし白妙の  
衣干すてふ天の香具山

持統天皇

人はいさこころも知らず古里は  
花ぞ昔の香にほひける

紀貫之

夜をこめて鳥の空音ははるかとも  
よに逢坂の関は許さじ

清少納言

かすみたつ ながきはるひに こどもらと  
てまりつきつつ このひくらしつ

良寛

### <主な学習活動例>

- 気に入ったものは、覚えて言ってみよう。
- 様子を思い浮かべながら声に出して読んでみよう。
- どんな風景が浮かんでくるか、話し合おう。
- 言葉のひびきやリズムを楽しもう。



〔百人一首〕

足引の山鳥の尾のしだり尾の  
長々し夜を一人かもねん

柿本人麻呂

田子の浦にうちいでて見れば白妙の  
富士の高嶺に雪は降りつつ

山部赤人

ひさかたの光のどけき春の日に  
しず心なく花の散るらん

紀友則

大江山生野の道の遠ければ  
まだふみも見ず天の橋立

小式部内侍

あらしふく三室の山のもみぢ葉は  
竜田の川の錦なりけり

能因法師

小学校四年

小学校の新しい教科書で  
扱われる古典教材例

〔故事成語〕

五十歩百歩

漁夫の利

蛇足

堂雪の功

杞憂

矛盾

など

〔月の名前〕

睦月

如月

弥生

卯月

皐月

水無月

文月

葉月

長月

神無月

霜月

師走

見わたせば花ももみぢもなかりけり  
浦の苦屋の秋の夕ぐれ

藤原定家

金色のちひさき鳥のかたちして  
銀杏ちるなり夕日の岡に

与謝野晶子

<主な学習活動例>

- 意味と成り立ちを調べてみよう。
- 文を作ってみよう。
- 声に出して読んでみよう。
- 風景を思い浮かべてみよう。
- 様子や気持ちを思い浮かべてみよう。



小学校の新しい教科書で  
扱われる古典教材例

# 小学校五年

## 〔竹取物語〕

今は昔、竹取のおきなといふ者ありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつことなむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一すぢありける。あやしがりて、寄りて見るに、つつの中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

## 〔枕草子〕清少納言

春は、あけぼの。

やうやう白くなりゆく山ぎは、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

## 〔徒然草〕兼好法師

つれづれなるままに、日くらし、すずりに向かひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

## 〔徒然草〕兼好法師

高名の木登りといひし男、人をおきて、高き木に登せて、こずゑを切らせしに、いと危く見えしほどは、……

## 〔平家物語〕

祇園精舎のかねの聲、  
諸行無常のひびきあり。

娑羅双樹の花の色、

盛者必衰のことわりをあらはす。

おごれる人も久しからず、

ただ春の夜の夢のごとし。

たけき者もつひにはほろびぬ、

ひとへに風の前のちりに同じ。

## 〔論語〕

子曰はく、「己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ。」と。

子曰はく、「過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。」と。

## 〔春暁〕孟浩然

春眠不覚曉  
处处聞啼鳥  
夜來風雨聲  
花落知多少

## 〔春夜〕蘇軾

春宵一刻直千金  
花に清香有り月に陰有り  
歌管樓台声細細  
鞦韆院落夜沈沈

## 〔静夜思〕李白

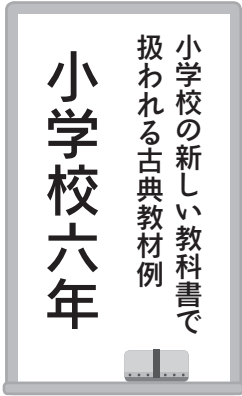
牀然月光を看る  
疑ふらくは是れ地上の霜かと  
頭を挙げて山月を望み  
頭を低れて故郷を思ふ

### <主な学習活動例>

- 随筆を書こう。
- 声に出して読んでみよう。
- 現代と比べて考えてみよう。

・ 狂言(附子)  
・ 源氏物語  
・ 宇治拾遺物語  
など





〔万葉集〕(万葉仮名)

銀母 金母 玉母 奈尔世武尔  
麻佐礼留多可良 古尔斯迦米夜母

〔天地の文〕福沢諭吉

天地日月。東西南北。きたを背  
に南に向かひて右と左に指させ  
ば、ひだりは東、みぎはにし。  
……

〔アイヌ神謡集〕知里幸恵訳

銀の滴降る降るまわりに、  
金の滴降る降るまわりに。

〔枕草子〕清少納言

うつくしきもの 瓜にかきた  
るちこの顔。雀の子の、ねず鳴  
きするにをどり来る。……

〔胡隠君を尋ぬ〕高啓

水を渡り 復た水を渡り  
花を看 還た花を看る  
春風 江上の路  
覚えず 君が家に到る

〔枕草子〕清少納言

春はあけぼの。  
やうやう白く……。

夏は夜。

月のころは……。

秋は夕暮れ。

夕日のさして……。

冬はつとめて。

雪の降りたるは……。

〔おくのほそ道〕松尾芭蕉

月日は百代の過客にして、行きか  
ふ年もまた旅人なり。舟の上に生涯  
をうかべ馬の口とらへて老いをむか  
ふる者は、日々旅にして旅をすみか  
とす。古人も多く旅に死せるあり。

〔おもろそうし〕外間守善訳

ゑげ 上がる三日月や  
ゑげ 神ぎや金真弓  
ゑげ 上がる赤星や  
ゑげ 神ぎや金細矢  
ゑげ 上がる群れ星や  
ゑげ 神が差し櫛  
ゑげ 上がる虹雲は  
ゑげ 神が愛きき帯

・ 狂言

(柿山伏)

・ 落語

(寿限無)

・ 短歌を作ろう

など

<主な学習活動例>

- 声に出して読もう。
- 繰り返し朗読し、暗唱しよう。
- 日本の文字に関心を持とう。
- 昔に書かれた文章を読んでみよう。



# 中学校でのこれからの古典学習は？

小学校で2～5ページの古典教材を学んでくことを受けて、  
中学校でのこれからの「古典学習」は、どのように考えたらいいのでしょうか。

## 〔中学校〕

- ・音読を通して古典の世界に触れる。
- ・朗読を通して古典の世界を楽しむ。
- ・実感をもって、古典の世界に親しむ。
- ・作者の思いを想像したり、文章に引用したりする。

## 〔小学校〕

- ・音読や暗唱をする。
- ・古典作品のリズムを感じ取る。
- ・内容の大体を知る。

小学校での音読中心の学習を受けて、中学校では例えば下に示すような  
二つの方向で「新しい古典学習」を展開することが考えられます。

## 考える力を伸ばす

— 領域と関連させた古典学習 —

- 生活の中に「古典」を生かす。
- 思考力、判断力、表現力を高める。
- 引用して「読むこと」や「書くこと」の言語能力を高める。

味わう古典

## 文化の中の言葉と向き合う

— 国語授業開きとしての古典学習 —

- 小学校での国語学習の到達度を知る。
- 小学校の古典教材を繰り返し学び直す。
- 声に出して読むことで、古典のおもしろさに気づいたり、作者の思いや情景を想像したりする学習。

触れる・楽しむ・親しむ古典

※詳しい実践提案は、弊社 Web サイトで 12 月にご覧いただける予定です。

『中学校学習指導要領解説 国語編』より

( \_\_\_\_\_ 線は、編集部)

- 今回の改訂では、伝統的な言語文化に小学校の低学年から触れ、中学校においても引き続き古典に親しむ態度の育成を重視している。(21 ページ)
- 「伝統的な言語文化に関する事項」は、小学校から系統的に設定している。中学校においてはそれを踏まえ、一層古典に親しませるとともに、我が国に長く伝わる言語文化について関心を広げたり深めたりすることを重視して指導する。(22 ページ)

## 伝統的な言語文化に関する事項 一覧

〔学習指導要領〕より

	(ア)	(イ)
小学校 3・4年	易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。
小学校 5・6年	親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。	古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。
中学校 1年	文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。	古典には様々な種類の作品があることを知ること。
中学校 2年	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。	古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。
中学校 3年	歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。	古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書くこと。

### 〔中学校学習指導要領解説 国語編〕より

( \_\_\_\_\_ 線は、編集部)

- ①年
  - 「古典特有のリズムを味わう」ためには、古典の文章を繰り返し音読して、その独特のリズムに気付かせることが重要である。(40 ページ)
  - 「様々な種類」としては、和歌、俳諧、物語、随筆、漢文、漢詩などを挙げるができる。(中略) これらと、小学校から親しんできた様々な古典とを結び付けることで、古典の世界についての新たな興味・関心を喚起することが大切である。(40 ページ)
- ②年
  - 古典の世界を楽しむためには、生徒が古典の世界に積極的にかかわれるように工夫することが大切であり、作品の特徴を生かして朗読することは効果的な学習である。(58 ページ)
- ③年
  - 書く活動を通して、生徒が自分の考えを述べる文脈の中に古典の世界を取り入れるようにすることが重要である。(76 ページ)



# 小学校で扱う古典教材

## 現行版教科書

( ) 内の数字は掲載発行者の数。  
\*印は、「発展」・「付録」等の扱い。

学年	文学・絵巻など	短歌・俳句	漢詩・漢文・故事成語	伝統芸能	知識
小3				・落語(1)「じゅげむ」	
小4		・俳句(1) 松尾芭蕉・小林一茶 他		・落語(1)「ぞろぞろ」・「寿限無」 ・狂言(1)「清水」	
小5	・「竹取物語」(2)*	・短歌(1) 与謝野晶子・柿本人麻呂・良寛・正岡子規 他 ・俳句(2) 小林一茶・松尾芭蕉・高浜虚子 他 ・百人一首(1)	・故事成語(1) 五十歩百歩・蛇足矛盾 他	・落語(1)「まんじゅうこわい」	・ことわざ(2)「石の上にも三年」他 ・いろはうた(1)
小6	・「竹取物語」(1)* ・「枕草子」(1)* ・「平家物語」(2)*	・短歌(4) 橘曙覧・斎藤茂吉 他 ・俳句(4) 松尾芭蕉・与謝蕪村 他 ・百人一首(1)	・「論語」(1)* ・孟浩然「春暁」(1)* ・蘇軾「春夜」(1)*	・落語(1)「崇徳院」 ・狂言(1)「柿山伏」 ・文楽(1)*	・万葉仮名(4) ・ことわざ(3)「さるも木から落ちる」他

## 平成 23 年度版教科書

学年	文学・絵巻など	短歌・俳句	漢詩・漢文・故事成語	伝統芸能	知識
小3	・「竹取物語」(1) ・笑い話「星取り」(1) ・鳥獣人物戯画(2) ・鼠の草子(1)	・短歌(2) ・俳句(5) 松尾芭蕉・良寛・与謝蕪村・小林一茶・正岡子規 他 ・百人一首(2)		・落語(1) 「じゅげむ」	・季語(1) ・八節(1) ・いろは歌(2)
小4	・昔話「浦島太郎」(1)	・短歌(3) 式子内親王・良寛 他 ・俳句(1) 松尾芭蕉・正岡子規 他 ・百人一首(4)	・故事成語(4) 蛇足・五十歩百歩・漁夫の利	・落語(1) 「額に柿の木」 ・落語(2) 「じゅげむ」	・ことわざ(2) 「石の上にも三年」ほか ・月の名前・暦(睦月・如月ほか)(1)
小5	・「竹取物語」(3) ・「枕草子」(2) ・「徒然草」(2) ・「平家物語」(4) ・「宇治拾遺物語」(1)	・短歌(2) 式子内親王・良寛 他 ・俳句(3) 茨木和生・渡辺水巴・中村汀女・松尾芭蕉 他 ・百人一首(1)	・故事成語(1) 「登竜門」「他山の石」他 ・「論語」(2) ・漢詩(2) 孟浩然「春暁」・李白「静夜思」・蘇軾「春夜」・杜甫「絶句」他	・落語(2) 「風がふいたら箱屋がもうかる」・「まんじゅうこわい」他 ・狂言(2) 「附子」・「しびり」他	・季語・俳号(1)
小6	・「竹取物語」(1) ・「枕草子」(3) ・「徒然草」(2) ・「平家物語」(1) ・「おくのほそ道」(2) ・福沢諭吉「天地の文」(1) ・名言(1) ・聖徳太子 他	・短歌(4) 与謝野晶子・橘曙覧 他 ・俳句(1) 正岡子規・山部赤人 他 ・万葉集(1)	・「論語」(2) ・漢文(1) 「百聞不如一見」他 ・漢詩(3) 孟浩然「春暁」・高啓「尋胡隱君」・李白「静夜思」他	・落語(1) 「寿限無」 ・狂言(1) 「柿山伏」・「神鳴」他 ・歌舞伎・文楽(1)	・万葉仮名(3) ・暦(1)

三省堂 国語教育

# ことばの学び

a new way of learning Japanese

臨時増刊号 vol.1

特集 伝統的な言語文化

2010年12月24日発行

●編集・発行人 北口 克彦

●発行所 株式会社 三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町 2-22-14

TEL 03 (3230) 9427 [編集] 9551 [営業]

<http://www.sanseido.co.jp/>